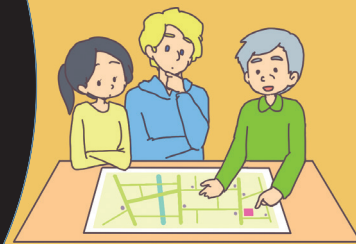




「もしも」を考えて 地震に備えましょう

問合せ／危機管理課 防災係（☎ 27-8111）



近年、南海トラフ地震の発生確率が高まっており、40年以内の発生確率は90%以上といわれています。ある日、突然やってくる地震に対して、いざというとき「あわてない」ために、地震が起きた際の正しい行動を身につけましょう。

命を守る行動をしよう！

地震発生時の 基本行動

身をかがめる

頭を守る

揺れが収まるまで
動かない

屋内

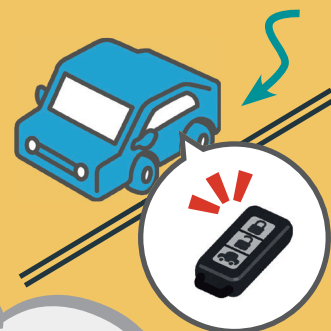
- ・体を低くし、テーブルの下などにもぐりこむ
- ・タンス、食器棚、冷蔵庫などの大型家具から離れる
- ・ドアなどを開けて逃げ道を確保する

屋外

- ・かばんなどで頭を守る
- ・ブロック塀や石垣、電柱、自販機など転倒の恐れのある物から離れる
- ・建物から離れる（頭上から瓦、外壁やタイルが落下することもある）
- ・切れた電線や折れた電柱には近づかない

運転中

- ・急ハンドル、急ブレーキを避け、徐々に速度を落とす
- ・車を道路外の場所に移動する。やむを得ず道路上に停車する場合は、道路の左側に停車しエンジンを止める（道路の中央部は、緊急車両の通行のため開けておく）
- ・ドアをロックせず、キーを車内に置いて徒歩や自転車で避難する



地震火災の過半数は「電気」が原因

転倒したヒーターや照明器具が可燃物に接触した状態で再通電すると、着火します。地震発生時の火災を防止することが被害を最小限にとどめます。

揺れが収まったら、すぐに火の始末を！

- ・電気製品のスイッチを切って電源プラグをコンセントから抜く
- ・避難するときはブレーカーを落とす
- ・ガスの元栓を閉める



防災情報を手に入れよう！

災害情報ツール

市では、災害情報を防災無線でお知らせしていますが、屋外の状況により放送が聞き取りにくくなる場合があります。市ホームページや「緊急速報メール」のほか、使いやすい情報媒体をご利用ください。

電話応答サービス (☎ 080-0200-2722)

防災無線の放送内容を電話で確認できます。

戸別受信機 (※)

屋内で防災無線の放送が聞ける戸別受信機を無償で貸与しています。

電話通知 FAX 送信 (※)

視覚や聴覚に障がいのある方を対象に、防災無線の放送内容を電話や FAX により、音声や文字で伝えるものです。

(※) 申込は危機管理課 防災係 (☎ 27-8111) まで

アプリ、メール

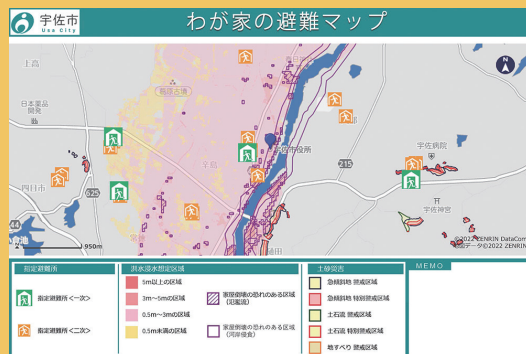
- ・市公式 LINE
- ・市登録制メール
- ・おおいた防災アプリ
- ・県民安全・安心メール



登録はこちら

宇佐市 WEB 版ハザードマップ

このハザードマップは、洪水・土砂災害・津波などに対応しています。お住まいの地域や避難経路に危険箇所がないかあらかじめ調べておきましょう。避難所の地域指定はないため、勤務地などで被災した場合の最寄りの避難所も確認しておきましょう。



6月
は土砂災害防止月間！
マップで見直しましょう

避難所まで急斜面や浸水する区域はないかな？

勤務地近くの避難所はどこかな？ 避難経路は？

スマホやパソコンから住所検索などで確認でき、多言語にも対応しています。

宇佐市 WEB 版ハザードマップ



協力して救助・救護しよう！

災害が大きくなると、負傷者の増加が見込まれ、また道路も通行困難となっているために消防署などによる救出活動が間に合わない場合があります。軽いけがなどの処置は、お互いに協力し合って応急救護をしましょう。

救出は複数で

救出活動には危険が伴います。周りの人や近所の人と協力し、できるだけ複数で行いましょう。

励まし合って

建物や落下物などの下敷きになった人がいたら、意識があるか確認し、救助隊が来るまで励ましましょう。

応急手当を

消防署の普通救命講習や消防庁のホームページから応急手当での基礎を学んでおきましょう。



一般市民向け応急
手当 WEB 講習▶



※今月の食育レシピは備蓄食料を使用した料理を紹介しています。詳しくは19ページをご覧ください。